

取扱いの趣旨

病理組織標本作製のほかにヘリコバクター・ピロリ関連の検査を施行している場合、免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製は、ヘリコバクター・ピロリ除菌前の感染診断検査に該当していないことから、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【病理診断】

《平成19年3月16日》

37 免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製②（ヘリコバクター・ピロリ）

○ 取扱い

原則として、病理組織標本作製のほかにヘリコバクター・ピロリ関連の検査を施行している場合、ヘリコバクター・ピロリの除菌判定のための免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製8のその他（1臓器につき）は認められない。

○ 取扱いを定めた理由

「ヘリコバクター・ピロリ感染の診断及び治療に関する取扱いについて（平成12年10月31日保険発第180号）」に即していない。

